

## 第 2 回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和 6 年 5 月 21 日(火) PM7:00～9:00  
場 所 新城市役所 4 階会議室  
出席者 委員 25 名 事務局 3 名

### 次第

- 1 会長あいさつ
  - 2 報告  
(1) 区長会での説明について
  - 3 協議  
(1) 令和 7 年度地域自治区予算事業の検討について
  - 4 その他  
(1) 地域協議会だよりについて
- 

### 1 会長あいさつ

### 2 報告

#### (1) 区長会での説明について

先日開催された第 1 回区長会の冒頭に時間をいただき、地域自治区制度及び地域協議会について区長の皆さんに説明を行い、今後区長会と地域協議会との連携・協力についてをお願いをさせていただいたことを報告した。

### 3 協議

#### 協議会の会議録署名

- ・定数 29 人のところ 25 人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を 2 名指名し署名をお願いした。

#### (1) 令和 7 年度地域自治区予算事業の検討について

##### (事務局説明)

- ・地域自治区予算事業策定要綱
- ・過去の東郷地域自治区予算事業
- ・令和 7 年度東郷地域自治区予算事業策定スケジュール
- ・令和 6 年度東郷地域自治区予算事業進捗状況

#### ○主な意見

委員 今年に入ってから能登半島の地震など、災害が頻発している。この地域でも近い将来南海トラフ大地震も来ないとは限らない。地域協議会で実施してきたこれまでの様々な取り組みは有意義だったと思うが、今後に関してはこれまでよりもっと力を入れていってはどうかと考えている。例えば、守ろうの柱だけではなく、全ての柱で防災

に特化した取り組みを考えていくなど、地域協議会として中長期的な方針を決めたらどうか。

会 長 各柱で進めないといけない事業や解決しないといけない課題があるため、防災というテーマを全体として大きく掲げ進めていくのは難しい。まずは、守ろうの柱の中で話し合い、核となるものを作っただけであれば、それを基に市に提案したり、他の柱で検討出来るようになる。

事務局 地域において、防災という点はとても大事な部分ではあるが、地域協議会の役割や使命というのは住民の自治意識を高めて地域を活性化していくことだと考える。例えば、50歳の方が100歳まで生きるとすると、壊れない丈夫な家をつくることも大事だが、100歳まで心も体も健康で幸せに過ごすことも同等に大切。その心と体の部分を受け持つのが地域協議会であり、家そのものの改修等は市の別の部署が担当しているはずなので、一度確認が出来れば、守ろうのリーダーも納得していただけるのではないかと。防災に関する市の現状や考え方を知るために市の防災対策課の職員を次回会議に呼ぶこともできるので、必要ならば言っていただきたい。

その後、地域計画の5つの柱ごとにグループにわかれ、令和7年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。グループ討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

### 柱1 暮らそう

- ・暮らそうのメンバーも今年度新しくなったので、これまでの活動の情報共有を行った。話の中で、公民館の利用が少ない、活動する人が少ない、子どもがいないなどの課題が出た。
- ・社会福祉協議会で作成している、高齢者を対象とした活動団体紹介冊子があるが、あまり広まっていない。子どもから大人まで、地域で活動している団体のことを知る機会がない。
- ・交流サロンをやっているが、会場まで来られない高齢者の足の問題も大きいという現状を社会福祉協議会の方から聞いた。

### ○主な意見

事務局 地域の活動団体を周知するための現状の冊子以外に、例えば東郷のホームページを活用したり、東郷版の新たな活動団体紹介冊子を作るなど、次回の会議で深掘りしていくということによろしいか。

委 員 東郷のホームページのQRコードを会議資料に掲載していただければ確認ができるので、次回の会議からお願いしたい。

### 柱2 守ろう

- ・AEDの事業は次回の会議で検討する予定。
- ・防災では、自助・公助という考え方が大切なことだが、その中間、地域の助け合いである共助の部分を地域協議会で補っていきたいと考えている。さらに言うと、住民の自助が進んでいない気がする。普段の生活の中でどのような備えをしておけば良いかが住民は分からないのではないか。自助が進むように何か住民に示すことが出来るような取り組みについても検討していきたい。次回の会議で市の防災対策課を呼んでいただき、自助・共助を広める

ための市の現状の取り組みなどを教えていただきたい。

- ・防災に関しては、地域協議会全体として横断的に中期テーマとして検討していきたい。

### 柱3 育てよう

- ・育てようでは4つの事業があったが、その内2つの事業が地域自治区予算から自立し実行団体が主体となり実施していくこととなったため、それ以外の2つの事業について検討した。
- ・今年度実施する予定となっている休耕地を考える会の活動を深めていきつつ、両輪となるような事業を考えていかないといけない。何か異なるジャンルのもので掛け算することで新たなアイデアを生み出したり、新城の強みや魅力を活かしたストーリーを作って移住者を呼び込むようなことを検討していきたい。
- ・次回までに多世代交流事業(東郷学び学校)の来年度かかる予算を実行団体に聞いておいていただきたいということと、次回の会議では、市の移住担当の職員を呼んでいただきたい。

### 柱4 学ぼう

- ・来年度予算では、長篠・設楽原歴史問題集(上級編)作成を考えている。また、初級編の冊子の増刷は行ったが、中級編の増刷があるかどうかは、設楽原歴史資料館と相談したい。
- ・上級編まで完成した後の来年度以降については、年に3回ほど検定試験を実施するなど、今後の運用方法についても検討していきたい。
- ・長篠・設楽原の戦い450周年については、現状の市の計画などが不明であるため、次回の会議に生涯共育課の職員を呼んでいただきたい。

### 柱5 楽しもう

- ・東郷のホームページの運用方法や実績などの報告を東郷広報PR部の方に聞いてみたいので、次回会議に呼んでいただきたい。
- ・ケッターパークは無人化を検討しているとのことだが、こちらについても運営委員に直接聞いてみたいので、次回会議に呼んでいただきたい。
- ・今年度の予算として予定しているキャラクターの着ぐるみについて、東郷学び学校や防災のイベント等に貸し出すなどの運用方法を今後検討していきたい。
- ・多世代交流として、各柱で実施している事業を集めた形で何か出来ないかと考えている。

### ○主な意見

事務局 今回の会議で言い足りなかったことや他の柱の発表を受けて言いたいことなどがあれば、別添資料の意見シートに記入し6月7日(金)までに事務局まで提出いただきたい。

## 4 その他

### (1) 地域協議会だよりについて

- ・地域協議会で話し合ったことや決まったことなどを地域住民にお知らせする地域協議会だよりを定期的に発行している。今年度第1号は5月16日の区長発送で回覧を行っている。

【21:00 終了】